

会 議 録		令和 7 年12月10日作成	令和11年 3 月末日廃棄
会議名	京都府木津警察署協議会（令和 7 年度第 3 回）		
開催日	令和 7 年12月 8 日（月曜日）		
時 間	午後 1 時30分から午後 3 時35分までの間（ 125分）		
場 所	京都府木津警察署 講堂		
出席者	光橋会長、有馬委員、宮本委員、服部委員、古川委員、中島委員、松石委員 （欠席 山本副会長、岩木委員、清田委員、市場委員） 計 7 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、警備課長、 広聴・相談係長 計 8 人		
諮 問 事 項	サイバー犯罪被害防止対策について		
会 議 内 容	<div> <div>1 会長挨拶</div> <div>司会 警務課長</div> </div> <div> <div>2 署長挨拶</div> <div></div> </div> <div> <div>3 協議</div> <div>司会 会長</div> </div> 諮問事項説明 サイバー犯罪被害防止対策について 講演 「ネットトラブルからみなさんを守るために」～ネット安心アドバイザー 【委員】 京都府警察のサイトを閲覧すると、インターネットにかかる犯罪については、SNS 型の投資詐欺やロマンス詐欺の被害に遭う若い方が増加していると記載があった。 私も地域の防犯教室でネットトラブル防止の講話を拝聴したことがあるが、最近では働く世代である若い世代にも被害が及んでいると聞いている。 高齢者に対しては、被害防止のため防犯教室等を開催されているようだが、今後は働く世代、ファミリー層といった比較的若い世代への広報啓発活動も重要ではないか。 【警察】 御指摘の点については警察としても課題と捉えている。 今回講話していただいたネット安心アドバイザーの方には主に地域の会合での講話をお願いしているが、昼間働いている世代に対する広報啓発活動が十分でないことから、年代別にどのようにアプローチをしていくかを十分検討し、若い世代にはSNS の積極的な活動を実施していく予定である。		

【委員】 ネット通販でトラブルに遭うケースについて説明いただいたが、日本人が被害に遭うのは日本人のセキュリティー意識の低さが大きな原因だと考える。

【委員】 詐欺の被害が発生するのは、強盗などのような凶悪犯と比較して生命身体に危険が及んでいないことから、被害意識が低いのではないかと感じる。

経済的損失を考慮すればもっと深刻に考えるべきだと思う。

私は被害には遭わなかったが、公式HPと瓜二つのサイトを開き、だまされかけたことがある。

手口が新しく思いもよらない手段でだまそうとしてくるので、防犯メール、LINE等あらゆる手段を使った広報啓発活動が不可欠である。

【委員】 京都市内の学校が被害に遭ったり、少年が生成AIを使用してサイバー攻撃を行うなどの報道があり、規模が大きくなりすぎていることに驚いている。

私たちの世代の若者は、インターネットで外国のサイトやSNSなどで買い物をする人が増えている。一方、フィッシング詐欺の被害を受けた後に闇バイトに勧誘される人も多いと聞くので、大学生、30代の若い世代もサイバー犯罪についてよく知っておくべきだと感じている。

ボランティアで特殊詐欺を防ぐため国際電話の利用停止を呼び掛ける防犯啓発活動を行っていた際、高齢の方は足を止めて聞いてくれるが、若い世代は被害に遭わないと思っているのかチラシ等もなかなか受け取らない。

やはり、若い世代への広報は従来のチラシではなくSNSを活用する必要があるのではないかと思う。

【委員】 若い世代と高齢者層での被害傾向などは分析されているのか。

【警察】 若い世代は闇バイトへの勧誘に関する被害の報告を多く受けている。

SNSで特殊詐欺の受け子や出し子を示唆する隠語を検索すると、闇バイトを募集するサイトに簡単につながり、中高生や大学生などが犯罪に巻き込まれやすい環境にあるといえる。

また、最近、20代、30代の世代がロマンス詐欺や、SNS型投資詐欺の被害に遭うケースも報告されている。

従来では、サイバー犯罪は高齢者が被害に遭うという認識であったが、若い世代にも被害が及んでいるので、御指摘のようなSNSによる発信を課題と捉えている。

【委員】 AIを使うなど、詐欺の手口が巧妙化しており、本物との区別がつきにくくなっていると実感している。

アカウントを乗っ取られた知人が、全く心当たりのないクレジットカードの請求が来たため、すぐにクレジットカード会社に連絡して損害はなかったとのことだが、身の回りにサイバー犯罪が及んでいるということを実感している。

先ほど20名ほどのネット安心アドバイザーの方が年間500件を越える講話を実施しているとお話であったが、アドバイザーの人員を増やすことも考えていかなければいけないのではないかと思った。

<p>会 議 内 容</p>	<p>今後の課題としては、先ほどから話が出ているようにSNSを活用した広報啓発活動が不可欠だと感じている。</p> <p>【委員】お客様にインターネットを提供するという通信インフラを担う企業の立場から、先日もお客様を対象にネット安心アドバイザーをお招きして講座を開催させていただいたところである。</p> <p>お客様からの問い合わせでも、ウイルスに感染してマイクロソフトからメッセージが来たというもの多々あり、入金前に相談があれば、「LANケーブルを抜いてください。」などの助言をし、被害が発生しないよう尽力している。</p> <p>若い世代へのサイバー犯罪の脅威に関する周知ということについては、当社も課題と捉えており、今後も警察と協力し推進していきたいと考えている。</p> <p>【委員】サイバー犯罪からの被害防止にはセキュリティー意識の向上が不可欠であると考ええる。</p> <p>私は保護司として、受け子をしたことがあるという者を担当したことがあるが、インターネットで職を探し、就職するに際し、親にも相談せずネット情報だけで即断してしまい悪事に手を染めてしまうというケースがあった。</p> <p>サイバー犯罪の怖さを強調する啓発が必要ではないかと思う。</p> <p>4 事務連絡</p> <p>令和7年度第4回京都府木津警察署協議会は、来年2月3日開催予定で調整中である。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--------------------	---

第3回京都府木津警察署協議会の開催状況

